

令和元年度第1回みよし市総合教育会議 会議録

| | | |
|---------|---|--|
| 日 時 | 令和元年9月25日(水)午後1時30分から午後3時30分まで | |
| 場 所 | みよし市役所6階 601・602会議室 | |
| 出 席 者 | 市 長：小野田 賢治、教育長：今瀬 良江、 教育長職務代理者：天野 博道、教育委員：松本 美佐、 教育委員：日比野 直子、教育委員：原口 百合子 | |
| 出席した職員 | 政策推進部長：山田勉、政策推進部次長兼企画政策課長：清水創一、 教育部長：深津弘樹、教育部参事：山北淳、 教育部次長兼教育行政課長：山崎正勝、歴史民俗資料館館長：林久義、 給食センター所長：洪田昌代、スポーツ課長：甲村聡、 生涯学習推進課長：竹谷富雄、生涯学習推進課主幹：村山孝文、 | |
| 書 記 | 教育行政課副主幹：伊藤益好 | |
| 傍 聴 者 | なし | |
| 開 会 | 企画政策課長 | <起立、礼> |
| | 企画政策課長 | ただ今から令和元年度第1回総合教育会議を開会いたします。本会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定により公開としておりますので、よろしく申し上げます。はじめに、小野田市長よりごあいさつを申し上げます。 |
| 市 長 挨 拶 | 市 長 | <p>令和元年度第1回みよし市総合教育会議を招集しましたところ、ご多忙の中、教育長及び教育委員の皆様にご出席をいただき開催できますことに、まずもってお礼を申し上げます。今年の3月に策定した第2次みよし市総合計画において、本市の将来像に「みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち」を掲げており、この将来像を実現するため、教育に関する項目も多く盛り込んでいるところですが、教育委員会と一体となって施策を行うことが必要不可欠でありますので、お力添えいただきますようお願いいたします。</p> <p>本日の会議では、「教育を取り巻く課題について」として、「学校運営における人的配置」と「コミュニティ・スクール」について意見交換をしてみたいと思っております。この総合教育会議は、首長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議及び調整の場であります。教育委員の皆様と忌憚のない意見交換を行いながら、「みよしの教育」の一層の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げ、会議開催にあたってのあいさつとさせていただきます。</p> |
| | 企画政策課長 | ありがとうございました。続きまして、今瀬教育長からごあいさつをいた |

| | | |
|---|----------------------------|--|
| <p>教育長挨拶</p> | <p>教 育 長</p> | <p>だきたいと思います。</p> <p>総合教育会議の開催ありがとうございます。市長におかれましては、教育に対していつも多大な支援をいただいておりますこと、まずもってお礼申し上げます。本年度より35人学級の実施、さらには特別教室へのエアコンの設置等、教育関係の整備と充実がますます進んでいることに対して重ねてお礼を申し上げたいと思います。しかしながら、昨今、学校を取り巻く環境は様々な課題が生み出されてきております。教職員の多忙化、あるいは外国にルーツをもつ子どもさんだけではなく個別の支援を要する子ども達の増加等々にも対応していかなければなりません。また新学習指導要領では、地域に開かれた学校ということで、ますます地域と共に子ども達を育てるということも求められています。その意味でも、コミュニティ・スクールは、みよし型の形を作っていくべきであろうかということを思っております。教育委員さんたちも大変勉強熱心で、研修会にも進んで参加していただいておりますので、色々ご意見をいただき、さらなる教育の充実を図っていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> |
| <p>議 事</p> | <p>企画政策課長</p> | <p>ありがとうございました。ただ今から議事に入ります。「みよし市総合教育会議運営要領」第4条第1項の規定により、この後の議事につきましては、小野田市長に議長をお願いいたします。</p> |
| <p>議 題 1 「教育を取り巻く課題について」 「学校運営に関する人的配置」</p> | <p>議長（市長）</p> <p>教育部参事</p> | <p>それでは、議長として議事の取り回しをさせていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。なお、会議録の作成につきましては、「みよし市総合教育会議運営要領」第7条の規定に基づき、教育行政課伊藤副主幹にお願いします。</p> <p>最初に、議題（1）「教育を取り巻く課題について」で、最初に「学校運営に関する人的配置」を議題と致します。まず、教育委員会事務局より本市の現状について説明をしてください。</p> <p>学校を取り巻く環境ですが、全国的には個別で特別な支援を必要とする発達障がいのある子どもが増加をしています。また、外国人労働者の増加にとともに、日本語を理解していない生徒も増加しているところです。本市については、様々な国から外国人労働者がおみえになっているわけで、多国籍化しております。そのため、学校運営における人的配置は必要不可欠なものと考えております。市費で任用している職種についてですが、常勤教諭として35人学級編成を行うための任期付市費負担教員を配置していただいております。県内では、犬山市と蒲郡市、本市の3市のみとなっております。ですので、我々も一層一人一人を大切にして教育を行っていくよう努めているところでございます。非常勤職員におきましては、様々な課題に対応していただいております。中でも、外国語活動対応非常勤講師、適応指導教育主任指導員、ハートケア教育サポートなど、今日的な課題に対応するための人的配</p> |

| | | |
|--|--------|---|
| | 議長（市長） | <p>置をしていただき本当にありがとうございます。さて、今後の課題というところですが、国の施策に対応するための教職員、また学校がかかえる諸課題に迅速に対応できる職員が必要になってくるところが課題であると考え、資料にあります6つの区分に分けた教職員が必要になってくるであろうことを危惧しているところです。</p> <p>1つ目はICT支援員です。国が強力に進めている教育のICT化の情報機器の活用方法等を職員に対して、提案、支援していただける専門的な知識を有する者が必要になってくるであろうということでございます。今でも支援員を配置しておりますが、さらに増員することで情報機器の活用が進むと考えております。</p> <p>2つ目は学校対応サポーター非常勤講師です。各学校では地域の人材を取り込んでの指導が積極的に進められておりますが、開かれた学校、地域と共にある学校づくりを進めるためには専門的にコーディネート役を担う者も必要です。今は教頭先生方が行っていますが、さらに積極的に進め、コミュニティ・スクール設置に向け、まずは学校と地域をつなぐ役割の学校対応サポーター非常勤講師といったコーディネート役が必要になってきます。</p> <p>3つ目は部活動指導員です。現在みよし市独自に部活動外部指導者を27名ほどお願いしていますが、部活動外部指導者は顧問の補助的な立場でございますので、これとは異なり、顧問の代行として部活動運営を行える、ということになります。</p> <p>4つ目は学校図書館司書補助員です。現在、市独自に学校図書館司書補助員を8名配置していますが、学校からはさらに増員、あるいは配置時間を多くしてほしいという声をいただいています。読書・読み書きの重要性が様々な場面で問われているところです。子どもの読解力を高めるためには、何をおいてもやはり図書館の活用であろうと思います。ですので、司書補助員の増員を目指しているところでございます。</p> <p>5つ目は日本語指導員です。転入し早く日本の生活に慣れてもらうために、みよし市ではまず初期日本語教室に入室してもらいます。この日本語教室は市の事業とし「学びの森」に設置しています。先程も申しましたように、様々な国から日本語を理解していない子どもたちが次々にやってまいります。みよし市では先ほどの初期日本語教室に加え、日本語指導補助員を配置し日本語の指導補助を行っています。県からも日本語指導教員が3名配置されていますが、外国からの転入が今年に入って急激に増加しており、対応に苦慮しています。それに対応できる指導員の増加が望まれるところでございます。</p> <p>最後になりますが、特別支援教育等対応非常勤講師及び同補助者です。インクルーシブ教育、障がいのある子どもも他の子ども達と一緒に同じ場で教育を受けるということを国が推進しております。それを支えるための補助者を増員していくことが求められると事務局としては考えております。</p> <p>説明が終わりましたので、意見交換に入りたいと思います。委員の皆様は挙手のうえ、ご発言をお願いいたします。</p> |
|--|--------|---|

| | | |
|--|---------|---|
| | 天野職務代理者 | <p>みよし市も外国人の子ども達が今以上に増えると予想されるので、外国の言葉が分からない子ども達へのケアをどうするか、学校をどうするか、ということ市として今のうちにある程度計画してもらいたいと思います。</p> |
| | 松本委員 | <p>コミュニティ・スクールの課題について、様々な分野があると思いますが、地域とつながることを先生の働き方改革も含め、どんな改善ができるか細かく考えていきたいと思います。</p> |
| | 日々野委員 | <p>私が思うのは、先生たちの業務の長いことです。指導時間がとても長くとても忙しくされている中、部活動の指導にも入られています。以前少し経験があるという先生たちが入って、生徒たちに指導なさって下さっているとは思いますが、部活動指導員という顧問の代行を入れることで生徒たちの専門性も高まると思いますし、レベルも上がることにつながると思います。先生たちの仕事の軽減と生徒の部活のレベルがあがるという2つの点から、部活動指導員を導入していただければと思います。もう一つは、学校図書館司書補助員です。子どもたちの活字離れは本当に進んでいると思いますし、本の好きな司書さんが入ることで、好きな方が指導して下さると楽しさがより子どもに伝わると思うので、補助員の配置を進めていっていただきたいと思います。</p> |
| | 原口委員 | <p>三好丘小学校の現状について、外国をルーツにする子どもたちが増加していて、1、2年生に結構な人数がいます。35人学級をしていただいととてもありがたいのですが、お母さんたちから子ども35人に先生1人だととても不安もあり、指導も目が届かないところがあるのではという声や、日本人の子どもたちだけでも大変だと思うところ、日本語がたどたどしい外国で育った子どもたちが何人もいるので、低学年の1、2年生は教員1人でなく、もう1人付けていただけたら、というお母さんたちの声があります。外国をルーツにする子どもたちに早く学校に慣れてもらうためには、日本語指導員も必要ですし、現在、学びの森で行っていることを北部地区にも置いていただいと、日本語の指導をしっかりといただける場所を作っていただいととてもありがたいと思います。働き方改革の中で、教師でなくてもできること、例えばプリントの印刷、給食費、教科書の配布等、事務の方を増やしていただき、先生の仕事を減らしていただくと働き方改革も進んでいくと思うので、そのあたりをお願いしたいと思います。</p> |
| | 教育長 | <p>きめ細やかな指導は色々な立場の人が色々な支援をして成り立つものですし、みよし市の先生たちは本当によく頑張っていると思います。子どもたちに真摯に向かい合い、家庭訪問をしたり外国から来た子どもたちにも丁寧に対応したりしていただいています。その先生たちの努力に報いることは何かないかと思っています。2、3年前の統計結果では、愛知県内でみよし市の在校時間が1番長かったという結果もあります。人的支援が必要な時が来たと思っています。</p> |

| | | |
|--|--------------------|--|
| | <p>市長 松本委員</p> | <p>ICT支援員は、国の環境整備方針の中でパソコンを1人1台ということで向かっていく時に、どのように活用して授業するのか、まだまだICTに不慣れな先生もいますので、ICT支援員がいることですぐに子ども達への対応ができるということがあります。</p> <p>学校対応サポーター非常勤講師ですが、みよし市はみよし型コミュニティ・スクールのシステムで動き始めているわけですが、それをつなぐ役割を教頭先生が一手に請け負う形になっております。そこで、教頭先生の仕事が増えていく中、専属的に学校と地域をつなげてくれる人がいてくれると、地域の力を学校に取り込み、学校も地域とつながるといことになり、子ども達を外に連れ出すこともできるだろうということで、開かれた学校づくりとして文部科学省も推奨しています。こういった立場の人が入っていただきますと、さらに地域と共に子どもを育てるシステムができるのではないかと思います。</p> <p>部活動指導員については、教職員の多忙化もありますが、子ども達が少なくなり、部活動が減りつつあります。子どもの想いを受け止めた部活動の存続、あるいは先生たちが専門外の指導よりも専門性を生かしたいという指導をするため、教員と同じような引率や指導ができる方が指導に入っていただくと、子どもの想いも受け止めて部活がしっかりできるのではないかと考えております。これは国の補助対象にもなっております。</p> <p>学校図書館司書補助員については、図書館がいつも開館していて、子どもたちが毎放課でも図書館に行って本を借りたり図書館の整備等を進めたりすることで利用率が高まると思います。私の現職の頃は、ボランティアの方や司書補助員の方をお願いをして図書館を終日開けたところ、子どもたちは平均で1年に50冊の本を読みました。</p> <p>日本語指導員については、今、11カ国の言葉をルーツとする子ども達が学校に来ております。全校で130名います。少し前まではポルトガル語だけでよかったのですが、多言語に渡るといこと、なかなかしっかりとした指導ができないのが現状です。学校に来た子ども達には十分な教育をして、日本で夢を持って生活できるようにすることが学校の責任だろうと考えております。</p> <p>次に、特別支援教育等対応非常勤講師及び同補助者についてですが、今、学校には様々な障がいのあるお子さんがおみえです。先生方が専門的知識を持って子ども達の指導にあたるのが子ども達の幸せにつながるのではないかとと思うわけです。研修も進めておりますが、なかなか大きな成果をあげていないというのが実状であります。様々な支援を必要とする子どもたちを手厚く支えることができたらと思っております。</p> <p>他に付け足すことがあれば、</p> <p>スクールカウンセラーが中学校に1週間に1回入っていると思います。スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーと立場の違うやるべき課題が違う人がいますが、それを重ねて1人の生徒親子に対して支援としてつ</p> |
|--|--------------------|--|

| | | |
|---------|--|--|
| | | <p>なげていく体制が必要ではないでしょうか。例えば夏休みに少し支援が必要な親子に対してケアができるといいと思います。スクールソ - シャルワーカーの方を市で個別に希望のある親につなげられるといいなと思います。小学校は地域との交流がありますが、中学校になっても義務教育の間、一緒に交流という形でつながることはできないでしょうか。北部地域に「いきもの語り」という重度心身の施設がありますが、施設として学校とつながる、そういった環境で何かしら深く子ども達と関わることができたらと思います提案させていただきます。</p> |
| 市 長 | | <p>色々な意見が出てきたので、どうしていきたいかという具体的な方向について、教育委員会の中でしっかり話し合ってもらえないなと思います。</p> |
| 原 口 委 員 | | <p>それに対して予算をつけていただけるかどうかの問題ですね。教育委員会がまとめたものが全部クリアになるわけではないですね。</p> |
| 市 長 | | <p>市として理想的にはここまでやりたいというのがありますが、それをどこで評価をしてどこで予算分けをするか。理想と現実の調整が必要です。本市の良さはたくさんあると思いますが、その中にも問題があって、課題として明確にでてきたのが今日なのかと思います。</p> |
| 松 本 委 員 | | <p>補う部分の人的な部分にお金が出ない場合、ボランティアという形でコミュニティ・スクールにお手伝いをしてもらう形はどうでしょうか。</p> |
| 市 長 | | <p>入っていただくことは嬉しいことですからオッケーですよ。</p> |
| 松 本 委 員 | | <p>色々な方に声をかけ、手伝えることがあればサポートが必要な子ども達に関わっていく人が増えるといいなと思っていて、先生たちも仕事が軽減されると思います。</p> |
| 市 長 | | <p>国がやる事、県がやる事、市がやる事、それ以外に民間の方々がサポートする事、これは何の問題もない。それを受け入れるかは学校であり、教育委員会です。</p> |
| 教 育 長 | | <p>コミュニティ・スクールになりますが、地域の力を学校にどんどんということで、市内の学校では100名近いボランティアの方がいます。その調整を教頭先生がやっています。やりたいという気持ちの人を掘り起こしたり学校とつなげたりとか、そういう役割の中でコミュニティ学校対応サポーターのような方がいると「こんなことをやっていただけませんか」と声を掛けることができます。今でも中学校では図書館ボランティアを募ったり、色々な行事の時のボランティアを募ったりしています。もっともっと地域と一緒に子どもをみることができるよう、この調整役がやっぱり必要です。これを先生たちにお願いと大変なので、ここのところに人材をつけると支援をし</p> |

| | | |
|--|------|---|
| | | <p>て下さる方も増え、支援員を増やさなくてもボランティアに特別な支援を要する子のところに来てもらったり、補助員のところもボランティアに来てもらったりすれば、司書を増やさなくてもよくなるかもしれません。</p> |
| | 松本委員 | <p>つなげる立場の教頭先生と地域との間の人的な方を、市としては職として置けたらということですか、そこがボランティアでは駄目ですか。</p> |
| | 教育長 | <p>他市町ですと、例えば退職された校長先生の方たちが地域の中で2、3校ぐらい受け持って地域と学級をつなげる役割を担っています。最初の立ち上げは、学校のことを分かっている方がコーディネーター役を担っていただくとうまくいくケースが多いようです。</p> |
| | 市長 | <p>それは可能だと思います。</p> |
| | 松本委員 | <p>部活は部活の人、障がいのある人をつなげるサポート役の人、子どもたちと校外学習へ行く人だとか、街探検だとかは地域の人を借りて行われるので、そういった部分のパイプ役をボランティアでやってくれる人はいると思いますが、学校のどこまで足を入れたらいいか悩んでいる方もいると思います。お金のかからない支援をしたいと思っているお母さん達もいます。</p> |
| | 教育長 | <p>事務方としては、ボランティアの核になる人がほしいですし、そういう方を発掘し調整する人もほしいです。そこで退職校長にお願いして、モデル的に組織を整理していくといいのかと思います。いきなりどうぞではなく、それぞれの分野があるので、本当は来年ぐらいからモデル的に地区で組織づくりをしてそれから市内へ広げていけるといいと思います。そうするとボランティアも集まりやすくなり、コーディネーターがこんな活動で学校を応援してくれませんか、と声をかけると学校に来ていただけるようなシステムづくりをしていきたいですね。これから整理していかないといけないかなと思いますが、来年ぐらいから始められたらと考えています。</p> |
| | 市長 | <p>以前、教員時代に中学校全校にチラシを配って登録制度をやったことがありますが、数人しかマッチングする人がいませんでした。今は以前より理解されているので、ちょっと足を運ぼうかというボランティアもいると思います。</p> |
| | 教育長 | <p>地域共同体ができるような組織を作っていくときに、例えば保護者だけではなく、シニアの方たちもすごい力を持っているので、そういう人たちが学校へ足を運べるようにしたときに、やっぱり学校をよく知っている退職校長たちが核になって、モデル的なケースから始めていくとうまくいくと思います。100人以上のボランティアが登録している学校もあるが、その調整を教頭先生がいききに引き受けているということで、大変ご苦労されているよ</p> |

| | | |
|--|---------|--|
| | | うです。 |
| | 松本委員 | どのような形でもいいですが、教頭先生だけが関わるのは大変だと思うので、学校を経験された校長先生による支援でもいいと思います。 |
| | 原口委員 | 文部科学省がまずはモデルとしてコーディネーターを置いてと言っているので、まずはどこかにモデルを置いて上手くいけば全市にということですね。 |
| | 松本委員 | 北中がモデルですか。 |
| | 教育長 | 三好丘中は地域と子どもたちとの地域会議もあり、三好丘小も黒笹小もだいたい地域の方々が協力している学校なので、まずはそこから整理していくといいかもしれません。 |
| | 市長 | 原口さんの言っていた35人学級について、教育長とも話し合いましたが、結論から言うと先生が足りません。30人学級でどうかといった話もでしたが、保育園幼稚園の定員が32人ということもあります。 |
| | 原口委員 | 教員免許を持っているのに教師にならずに市役所で働いている方に、なぜ教員にならなかったのか聞いてみたいと思います。 |
| | 市長 | 教員免許を持った職員が教育委員会にいた場合、3年ぐらい現場に行って指導して帰ってこられるようなシステムも考えてみましたが、実現できませんでした。 |
| | 原口委員 | ぜひもう一度チャレンジしてみてください。 |
| | 市長 | 外国人の子に対する教育をどうするか。現状をしっかりと把握しつつ、どこがどう欠けているのか見えてこないと何をするか中々言えません。 |
| | 天野職務代理者 | 今後外国人の子は増えると思うので、準備はしておかないといけません。外国人の子どもの教育を考えると、不登校など社会問題も一緒に発生しやすくなってしまいますので、なるべく皆が学校へ行って、給食を食べて規則正しい生活をすれば、外国人の子どもも皆仲良くやれるのではないかと思います。学校の受け入れというのは大事だと思います。 |
| | 教育長 | 初期日本語教育を学びの森でやっていますが、満員状態で午前と午後の部と分けている状態です。3カ月だけでは十分適応できないということで、期間を伸ばしている子もいます。三好丘小学校区辺りにもう1教室できると、しっかりした指導ができるのではと考えております。 |

| | |
|---------|--|
| 天野職務代理者 | 学びの森では部屋が狭いですね。 |
| 教 育 長 | そうですね。 |
| 松 本 委 員 | 現在11カ国語を話せる先生はいますか。 |
| 教 育 長 | いません。 |
| 原 口 委 員 | タブレットを使用して教育していますよね。 |
| 松 本 委 員 | タブレットでは上手にできないと思います。通訳は何人ぐらいいますか。 |
| 教 育 長 | 通訳は週1回、ポルトガルの方に学校に来ていただいていますし、必要に応じてお願いもしています。日本語指導の教員は常勤の教員が3名、これは県からの配置です。市独自で日本語指導で教員免許持っていない方もいます。 |
| 教育部参事 | 市として中部小、北部小、天王小、三吉小、緑丘小、三好中、北中、南中に3名、それぞれ曜日を変えて配置しています。 |
| 教 育 長 | ずっとついているわけにはいかず、週に1、2時間です。 |
| 松 本 委 員 | 今、話をしたいって時に聞けないってこともありますよね。 |
| 教 育 長 | 日本語の指導なので通訳はまた別にいます。日本語の力をつけるとこによって、早く学校になじんでもらうということです。 |
| 市 長 | 子どもたちはたくましくて、子どもを通して親と話をしていたことがあります。導き方は大事です。チャンスの芽をつまない教育、先生が支える面を充実していく必要があります。 |
| 教 育 長 | 慣れて早く日本語を覚えてほしいです。学校によっては日本語が必要な子が38人いて、そのうち12人が1年生のところもあります。そういうところでもうまく対応できるようになるといいと思う。 |
| 原 口 委 員 | だから1年生のお母さんたちが不安を感じるのですね。 |
| 市 長 | いきもの語りの交流についてはどうですか。 |
| 松 本 委 員 | ご本人さんたち自身が地域とつながる、学校とつながるっていう希望を持っていて、教頭先生に話はしているようです。 |
| 市 長 | 交流するというのは、双方とも成長するためにとってもいいことです。 |

| | |
|-----------|---|
| 松本委員 | 年に1回でもいいので、つながる地域づくりを希望していて交流できればと思っています。 |
| 市長 | 部活動指導員の募集については中々やり手がいらないです。時間制ですし、退職したOBや東海学園の学長と話した時に、部活動で活用できないかという話はしましたが。 |
| 教育長 | 部活動指導員の配置に際しては、国と県で各3分の1の補助率の補助制度が受けられます。部活動指導員は、市の非常勤職員として雇用する形となります。現在、市で独自に実施している部活動外部指導者は、あくまで顧問の補助としての役割で、生徒の引率や活動計画作成などの顧問としての職務をお願いすることはできません。部活動指導員の方は非常勤の形で活動することになりますので、先生と同じような働き方になります。引率もできるし指導もできるという方なのですが、部活動ガイドラインにより、平日は夕方の2、3時間で週3日、土日は両日とも活動する形ではないので、その辺でなかなか希望者がおらず、配置することはできませんでした。ですが、やってもいいというような人たちもちょっと聞いていますので、もしやってくださる人がいれば子どもたちのためになります。そして国や県の補助もありますので、いいシステムかなと思います。これを来年度お願いしていこうかと思っています。 |
| 市長 | 学校図書についてはどうですか。 |
| 日々野委員 | 本の好きな方が基本的に司書になられますし、補助員にも入られていると思います。補助員はいますが、もっとアピールしないと子どもたちは寄り付かないのではと思います。 |
| 教育長 | 年1回図書館の補助員たちに図書の本の紹介の仕方や研修会を行っています。 |
| 生涯学習推進課主幹 | 児童担当の職員が学校に行ってボランティアの方や教員向けに指導しています。 |
| 松本委員 | おもしろさ、ひきつけられるものがあれば子どもたちは本に飛びつくと思います。司書を知らない子どももいると思うので、体育館などで授業みたいなものを開き、図書館司書の方を子どもにちゃんと紹介してもらおうと子どもたちも興味がわくと思います。 |
| 教育長 | 司書の補助員は司書免許をもっておらず、図書館の貸し出しや図書館の整理というのが中心です。授業までではできないかもしれませんが、せっかく補助員としておみえですので、子どもたちへの紹介など、できるだけ図書館 |

| | | |
|---------------|---|--|
| 「コミュニティ・スクール」 | 市長 | の宣伝させていただくように私が校長たちに伝えます。 |
| | 教育部参事 | ICT支援員はいないといけないのですか。 |
| | 教育部参事 | 子どもたちにプログラミング教育を効果的に行うためには、まずは先生への支援が必要です。 |
| | 教育長 | 文部科学省から、積極的にコンピューターを使ったり、タブレットを使った授業ができたりするように、という指針も出ております。みよし市は大型提示装置と結びつけて授業をする際に手間取ってはいけないということで、スムーズに授業ができるよう支援員を置き、先生たちが事務過多にならないようにしていきたいと考えています。本市では、一昨年試験的にタブレットを10台入れて授業で活用したというレベルですので、これからタブレットを授業でフル活用するといった時に、さらに有効活用できるように、助走期間中は支援員も必要であろうと思います。 |
| | 原口委員 | 文部科学省はICT支援員を4校に1人配置しようというのを掲げています。 |
| | 教育長 | 支援員として現在、本市においては常勤1人と機器の導入業者の方が1人います。 |
| | 原口委員 | ICT支援員を置く具体的な業務例として、授業支援、校務支援、環境支援、校内研修というのがあります。それによって先生たちの研修の準備もICT化し、働き方もICT化を進めて、今まで手でやっていたものを全部コンピューターで管理してスムーズにやりましょう、というのもこの業務に入っているようです。 |
| | 議長(市長) | 続きまして「コミュニティ・スクール」を議題とします。 |
| 教育行政課長 | コミュニティ・スクールについてご説明します。先ほど話に出ておりましたコミュニティ・スクールについては、学校運営協議会を設置している学校のことを言います。学校運営協議会はどういうものかという、任意で地域住民代表の方、保護者代表の方、地域内協働活動推進の方を新たに任命しながら、この方々を委員に置いて学校と地域の将来的なビジョンを共有するという組織になっております。これとは別に先ほどから学校のボランティア活動の話がでておりましたが、こちらについては地域学校協働本部という組織になります。これは地域の中に設置されるようなものですが、3つの要素がありまして、コーディネート機能、多様な活動、継続的な活動があります。この3つの要素を元に地域住民等の参画を求めていきます。この中に地域学校協働推進委員がありまして、こちらの方によってコーディネートすることです。学校の組織と地域の組織を地域学校協働活動ということで手を | |

| | | |
|--|-----------|--|
| | | <p>組んで進めていくということになっております。今後は、コミュニティ・スクール設置に向けて教頭が中心となり学校経営へ参加する地域の人材をはじめ、コミュニティ・スクールの運営に関わる学校間の意見交換等を行うことができる環境整備をするために、令和3年度までに中学校の1校をモデル校として設置を目指しています。</p> |
| | 教 育 長 | <p>みよし市としては地域の校区委員会とか学校評議委員会とか組織はできているので、新たな組織を作るのではなく、それをうまくみよし型コミュニティ・スクールという形にしてみよし市に合ったものに作り上げていきたいというのが考えです。みよし市は内容的にはほぼできていますので、あとはコーディネーターを配置して地域と連携し共同で進めるということになります。校区委員会や評議委員会で、校長は学校の方針等を話し、そこで賛同を得ていますので、学校の基本方針を承認することもすでに行っていますし、学校に関する意見もその場で委員の皆さんは校長に述べていただいています。すでにみよし市はできているわけです。そこで新たに組織を起すのではなく上手く整理できないかと、そういった意味でモデル地区を作ってやっていくといいかなと思っていますところです。</p> |
| | 松 本 委 員 | <p>校区委員といった立場の方がおられるのは分かっていますが、そういう方たちが、学校のことを担っているということですね。登下校の見回りも先生たちが代わる代わるやって下さっていますが、そういったことも変わって行えるといいです。</p> |
| | 教 育 長 | <p>そういった方たちをボランティアとして募り、お願いしていけば動けるわけですけど、今はそこまで声掛けする人もいないです。まだ組織化されていないということで、実際に動くところまでいってないので、これからコーディネーターで組織化し、まずはモデル校を作っていこうと考えています。</p> |
| | 日 々 野 委 員 | <p>早く機能させ、みよし全体で機能してもらえるといいです。</p> |
| | 市 長 | <p>昔からこういう考えはあったが一向に進展していないので、みよし版のコミュニティ・スクールを確立する必要があります。効果をどこに求めていくかは教育委員会で考えてほしいです。教頭ではなく、校長OBでまかなうことはできないでしょうか。</p> |
| | 天野職務代理者 | <p>学校から地域につなげるのは難しいと思います。その時々続いたとしても半年や1年経って人事などが変わった時に絶ち切れになりやすいです。なので、どういう組織にしていくか、どういう形をとっていくか、ということできちっと決めていかないといいないです。</p> |
| | 教 育 長 | <p>その辺りの組織づくりを、しっかりやっていかなければいけないと思っています。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 天野職務代理者 | 継続性を考えていかなければいけないですね。 |
| 教 育 長 | 学校の事情もあり、地域ともある程度話をする中で、どうコーディネートしていくか、構想はありますけどとにかくやってみないと前に進めないのも、子どもたちが伸びるための力になればと思っております。今も学校が子どもたちを外へということで、年2回ぐらい地域ボランティアや地域の美化活動以外にも、小学校では卒業前にお世話になった施設を掃除してくるというように子どもたちも地域へ出始めています。子どもたちを地域へ、地域も学校へというのがもっと盛んになることで、皆で子どもたちを育てようというのが地域づくりにつながるのではと思います。コミュニティ・スクールや地域活動は地区によって違いますが、どの学校も差がないようにしたいと思っています。 |
| 市 長 | 以前は学校と地域は別々だったが、だんだん変わってきていると思います。今は参画するようになっていて、子どもが育つ環境にあります。子どもに任せれば、一生懸命やってくれます。 他に何かありますか。 |
| 原 口 委 員 | 学校の施設整備もよろしくお願ひしたいと思います。 |
| 市 長 | 子ども優先で考えていきます。 |
| 原 口 委 員 | 大規模改修の際は、皆が使いやすくなるようにお願ひします。 |
| 松 本 委 員 | トイレも改修するのですか。 |
| 教 育 長 | トイレは全校改修するように、2年計画でやっています。和式は学校の要望を聞いて、学習用・教育用にどこか1カ所残す予定です。今年と来年でほぼ改修します。 |
| 原 口 委 員 | トイレは校長先生たちもありがたいと言ってみえました。掃除もしやすいし、使いやすくなります。 |
| 市 長 | 最後に一言あれば。 |
| 松 本 委 員 | 今日のような要望があることは知っておいてほしいです。コミュニティ・スクールの主となるコーディネーターは、できるだけ地域のことをよく知っている方になっていただけるといいです。 |
| 日 々 野 委 員 | 教育委員になって学校を色々見ていく中で、ハード面はもちろんですが、受ける教育を一定にしてほしいと思いました。ボランティアの数が違ったり |

| | | |
|--------|--------|--|
| 閉 会 | 教 育 長 | すると子ども達が受ける教育にも差がでてくると思いますので。 今の課題に対応することが未来につながると考えています。よろしくお願いいたします。 |
| | 議長（市長） | ありがとうございました。以上で、本日の議事は終了しました。 続きまして、「その他」として本日の議題以外で何かご意見等があれば挙手のうえ、ご発言をお願いいたします。 意見なし |
| | 議長（市長） | 以上で、本日の日程はすべて終了しました。 |
| | 企画政策課長 | ありがとうございました。以上で、令和元年度第1回みよし市総合教育会議を閉会します。 <起立、礼> (午後3時30分) |